

札幌大学中長期構想
〈長期構想・中期計画〉

「**札大みらいフロンティア・プラン**」

－ **選ばれ続ける札幌大学への指針** －

2019（平成31）年3月策定〔長期構想・中期計画〕

2020（令和2）年3月改訂〔中期計画〕

2021（令和3）年5月改訂〔長期構想・中期計画〕

2022（令和4）年5月改訂〔中期計画〕

学校法人 札幌大学

目次

中期計画の枠組み	1p
----------	----

基本的な考え方	2p
---------	----

事業計画概要	3p～8p
--------	-------

(1)基本的視点、(2)推進する重点事業、(3)学生満足度向上のための取組、(4)教学マネジメントの推進、
(5)教育研究の充実、(6)地域交流・国際交流の促進、(7) 新型コロナ対策の効果的展開、
(8)キャンパスの計画的整備、 (9)短大へのきめ細かな対応、(10)効果的な学生募集及び広報活動、
(11)財務構造改革の徹底した推進、(12)ガバナンスの強化

財務の改革と再構築	9p
-----------	----

具体的な行動計画	10p
----------	-----

中期計画の枠組み

(1) 計画期間

- ・ 2019（令和元）年度～2023（令和5）年度の5か年

(2) 計画の推進

- ・ 基本方針

「Withコロナの困難を乗り越え、Afterコロナに備える」

- ① 予算の効率的執行
- ② 組織・人事
- ③ PDCAサイクルと弾力的見直し

基本的な考え方

(1) 共有すべき危機意識

- ・ 攻めの戦略
- ・ 大学の魅力づくり
- ・ コロナ禍の影響に対応した主体的な取組 など

(2) 当面の最重要課題

- ① ICTの活用等による教育の質向上
- ② 専攻の再編やカリキュラム改編等による魅力づくり
- ③ Withコロナを乗り越えるための安全・安心な学習環境の整備
- ④ 学生確保のための施策と広報の戦略的展開
- ⑤ 財務構造改革の徹底及び人材確保・教育環境充実などに向けた「未来への投資」の両立

事業計画概要

(1) 基本的視点

- 中期計画及び学長政策に基づく改革プログラムの積極的推進
- コロナ禍にあっても、質確保のできる教育の展開、経済雇用の状況に即応した就職支援の充実と学びへの継続支援
- 地域課題解決に寄与する高大地連携の重点的推進と就職支援機能の充実を図る拠点の整備
- 国際交流再開の好機を逃さず交流拡大を図るための具体的なシステムづくり
- 将来を見据えた財務構造改革の徹底とキャンパス整備の計画的推進

(2) 推進する重点事業

- ① 教育の質の確保・向上 ～みらい志向プログラムのスタート及び拡充～
- ② 基盤教育の見直し
- ③ キャリア教育の充実

事業計画概要

札幌大学のミッション・ビジョン・バリュー

地域共創学群

プログラム	経済学	経営学	法学	英語	ロシア語	歴史文化	日本語文化・	スポーツ文化	リベラルアーツ	
	専門性を深める（高める）									
コース	基礎力養成（学修支援センター）、公務員養成（公務員対策室）、教員養成（教職センター）、選抜									
資格等課程						学芸員	日本語教師	特別支援教育		
全専攻横断プログラム	データサイエンス「魁」 ビジネス創生「食・観光」 アイヌ文化スペシャリスト養成プログラム「asir」 ※2023年度 新たに2プログラムを開講（予定）					社会的な応用力を身につける （広げていく）				
基盤教育	共通科目（スリム化） ☆6つの科目群（導入、基盤、外国語、教養、共通、留学生） ☆キャリアプログラム：SUTEPの内製化、入門演習+キャリアデザインI方式の導入 など ☆英語の必修化 ☆SDGsに関する科目の新規開設 など									

事業計画概要

(3) 学生満足度向上のための取組

① 学生支援型IRの構築

- ・ 学生満足度の向上を基本とした全学的IRシステムの構築

② 新型コロナウイルス感染症に関する大学独自の学生支援

- ・ 独自の奨学金等経済的支援の継続

③ 学習環境の整備

- ・ 主体的な学習を後押しするラーニングコモンズ等「学生の居場所」づくり

④ SUGs (Sapporo University Goals) の策定

⑤ 課外活動支援

事業計画概要

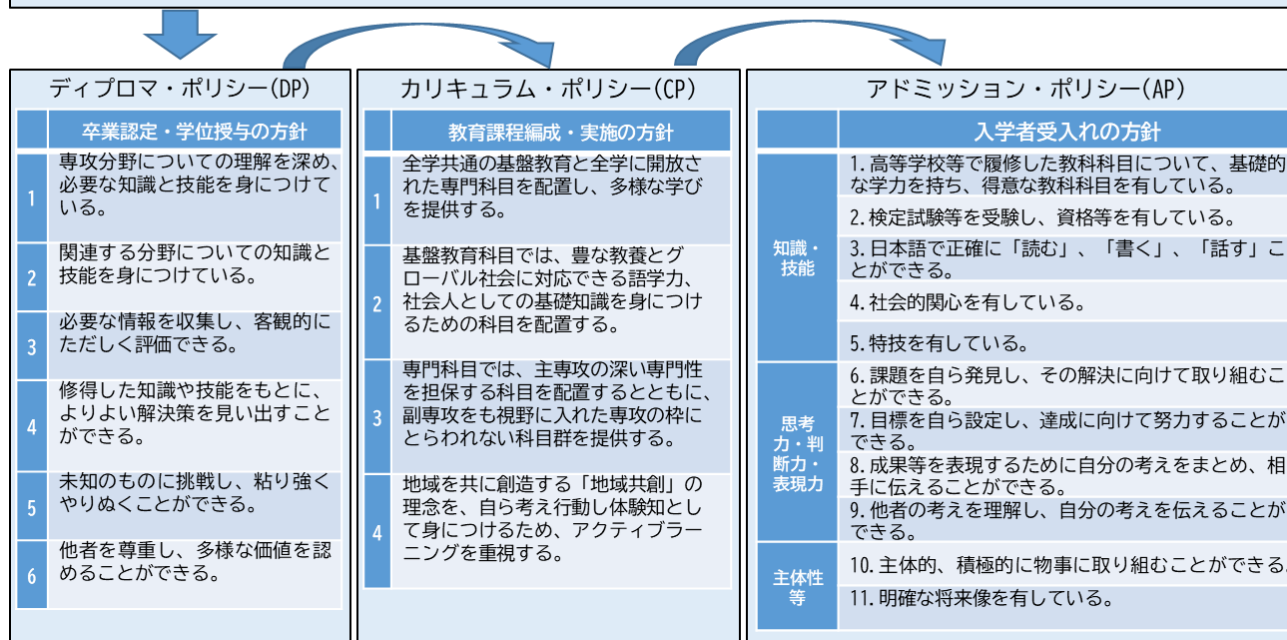
(4) 教学マネジメントの推進

教学マネジメントの確立と学修者本位の教育の質の向上を図るための3つのポリシー

札幌大学学則第9条（学群・学域の教育目標及び人材育成の目的）

学群・学域の教育目標及び人材育成の目的は以下のとおりとする。

- (1) 急速に変化する現代の社会が抱える様々な課題に、広い視野と総合的な知識・判断力によって、総合的に対処に対処できる人材を育成すること。
- (2) 地域において他者と共に新たな価値を創造する力、すなわち「地域共創力」を身につけた人材を育成すること。
- (3) 経済学、外国語学、経営学、法学、文化学に関する専門知識を駆使して、参加と協働による持続可能な社会の実現に貢献する人材を育成すること。



事業計画概要

(5) 教育研究の充実

- ① 教育のDX化の推進
- ② 教育・研究奨励制度の充実
- ③ 企業との共同研究

(6) 地域交流・国際交流の促進

- ① 「地域連携センター」の設置
- ② 内閣府 関係人口の創出モデル構築プロジェクト事業への参画
- ③ 国際交流の更なる推進

(7) 新型コロナ対策の効果的展開

- ① 感染防止策の徹底
- ② 「学び」の継続を支える効果的な修学支援
- ③ Withコロナ時代における就職支援

事業計画概要

(8) キャンパスの計画的整備

① 札大キャンパス二つの新機軸

- ・新機軸Ⅰ「みらい共創スクエア」の創出
- ・新機軸Ⅱ「アクティブ・ラーニング コアエリア」の形成

② 1号館の耐震改修

③ サツドラホールディングスの店舗出店（データサイエンス教育の連携）

④ 構内遊休地の有効活用

(9) 短大へのきめ細かな対応

① 修学に関する支援

② 進路に関する支援

(10) 効果的な学生募集及び広報活動

(11) 財務構造改革の徹底した推進

(12) ガバナンスの強化

財務の改革と再構築

(1)収支黒字化に向けたシナリオ

足元の収支は改善傾向にあるが、現在着手している耐震化等の施設設備投資や今後の更なるキャンパス整備に向けて、収支の黒字化と一定水準のCFの確保は本学の存続に当たっての重要な課題である。

(2)財務の再構築に向けた幅広い施策の検討

財務の再構築を図るため、(1)のシナリオの実現に向け取り組むとともに以下の施策をはじめとした幅広い「収入増加策」・「支出の抑制策」についても併せて検討していく。

A. 収入増加策

- ① 寄付金募集の増強
- ② 遊休施設、資産の有効活用
- ③ 大学施設の利活用の促進
- ④ 関連会社を通じた収入機会の拡大

B. 支出の抑制策

- ① 教育研究経費の見直し
- ② 管理経費の削減
- ③ 給与体系の見直し
- ④ 大学間連携による機能の効率化

具体的な行動計画

項目	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	項目	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
① 教学マネジメント体制の確立	教学組織見直し		新カリキュラム適用	⑤ ラーニングイノベーションの推進	遠隔授業方法検討	ハイフレックス型授業の運用 (PDCA)	
	3ポリシー再構築					新基盤教育・総合教育センターとの連携	
	科目スリム化に着手			IR選定に着手	学生支援型IRの運用 (PDCA)		
	学修成果の可視化検討			ダブルサポート強化検討	入門演習(学群)による導入・検証		
	DX推進検討	DX推進会議稼働			休退学抑制検討		
② 新教育プログラムの構築	基盤教育見直し	新基盤教育一部適用		⑥ 多様な連携とグローバルパートナーの拡大	高大接続・連携	新陽高校、鶴川高校など	
	キャリア教育見直し	総合教育センター準備会設立			人的ネットワーク	校友会や教友会、後援会や教職員OBOG会との連携	
③ 全専攻横断総合プログラムの展開	プログラム検討	みらい志向プログラム開始	新たな2プログラムを開始		産学官連携	サツドラHD(データサイエンス教育プログラム)	
	コース検討・既検証	基礎力養成コース見直し		海外協定校確保	現地進学相談会の実施		
				大学間連携(道文教大等)	みらい志向プログラムでの連携 など		
④ ニューノーマル時代の実践キャリア教育の推進	就職支援体制強化済	地域連携センターとの連携					
	キャリア教育見直し						
	ICT教育検討	情報リテラシー教育開始					
	アントレプレナー検討						